



校長だより

ざまたん
座間小キャラクター

座間市立座間小学校（電話 251-0009）
校長 大谷 一

例年よりもかなり遅い梅雨入りでしたが、今では梅雨明けがいつになるのか気になります。1学期も最後の1ヶ月となり、夏休みが近づいてきました。今年度から水泳教室が座間公園プールからイロハスイミングクラブに変更になりました。個人的には暑い夏の直射日光を浴びての水泳も好きなのですが、座間公園プールが遠くて行き帰りに時間がかかっていたので、水泳時間を確保するという点や天候に左右されないなどというところが良くなったのかなと思います。



5年生田植え



2年生とうもろこし皮むき

座間小学校では、ICT機器を活用した授業改善や業務改善を推進しています。授業では、従来は黒板と先生の声で行っていたものが、大型モニターを活用して、視覚的にも聴覚的にも把握しやすくなるようにしたり、パソコンからインターネットや動画を投影したりすることで、より分かりやすい授業をすすめています。児童に貸与しているタブレット端末も授業で使用する機会が増えていて、それに伴って、活用の仕方もしだいにバリエーションが増えてきています。

現在は、児童一人ひとりが考えたことをデジタル付箋紙などに書き込んで、それをクラスの全員が同時に見て、他者の考えから更に自分の考えを深めていくような活用が増えてきています。このような授業方法の改善は、座間小学校内だけでなく、他の学校の授業も見学して、良い取組を自分のクラスなどのようにカスタマイズすればいいかななどを工夫しながら、利用方法を広げています。座間小学校内でも様々な取組を相互に紹介し合ったりすることで、活用方法を広めています。

業務改善としては、職員同士の業務連絡を校内 SNS で情報共有し、職員会議も紙による資料は今ではほとんど無くなり、タブレット端末を持ち寄って、データを見ながらすすめています。いろいろな調査も紙からデジタルに代わっています。職員室の連絡黒板も手書きから電子データを拡大投影して周知しています。（今年度中には大型モニターに投影するように変更される見込みです）

このような DX をすすめていくときには、導入時に多くの負荷がかかってしましますが、少しずつ慣れていくことで、時間や資源を削減することができるようになります。学校教育では児童と先生が向かい合うこと、児童同士が向かい合うことが大切なので、根幹となる部分はデジタルで置き換えることが難しいこともたくさんあります。デジタルを効率的に活用して、人と人とが触れ合うことで学ぶことが増える機会を多く持てるように、これからも業務改善をすすめてまいります。学校のホームページでも様々な取組を紹介してまいりますので、ぜひご覧ください。